

平成 21 年度主要目標

主題： 「作業療法 5 ヶ年戦略“地域生活移行支援”の推進 ～2年目の重点的取り組み～」

平成 20 年度より取り組みを開始した「作業療法 5 ヶ年戦略」が 2 年目を向かえ、スローガンとして掲げている“地域生活移行支援”を具体的に推し進めるために上期（2008-2009）に達成予定の具体的行動目標を着実に実行するものである。さらに、今年度の主要目標においては、平成 21 年度介護保険制度（介護報酬改定）改定後の対応、平成 22 年度診療報酬改定に関する専門職団体としての要望を力強く行うなど、制度改定への対応を適切且つ迅速に実行する。また、WFOT 世界会議（2014）の誘致決定に伴い、国内外における国際的事業を推進する。

1. 学術的基盤の強化

1) 学術部発行物の普及啓発

作業療法ガイドライン、作業療法ガイドライン実践指針、作業療法マニュアルシリーズの普及啓発

2) 事例報告登録制度・課題研究助成制度の推進と運用強化

事例報告推進研修会の企画実施、制度啓発資料の作成や課題研究助成制度の成果の発表

3) 学会の学術的あり方の提示と、学際的・国際的学術交流の推進

演題発表を中心に据えた学会のあり方を示す

国外からの研究者の招聘、国際的な共同研究を推進、他学会との共同開催の検討

4) 作業療法関連用語の整理

作業療法関連用語解説集の編纂

2. 臨床的課題への取り組み

1) 制度改定等への対応

平成 21 年度介護保険制度（介護報酬改定）改定への対応（情報発信・改定後調査）

平成 22 年度診療報酬改定に向けた対応（要望項目の選定・要望書の作成と渉外活動）

2) 事例集積システムを活用した作業療法効果の提示

3) 障害者自立支援法・特別支援教育等における作業療法の普及・啓発

3. 教育的課題（養成教育・生涯教育）への取り組み

1) 養成教育の改革

作業療法士養成教育課程のあり方を提示する

臨床実習手引きの改訂版を発刊する

2) 生涯教育の充実（地域生活移行を支援する作業療法士の育成）

認定作業療法士の更新・新規を大幅に増やすための制度の充実

専門作業療法士の養成研修を開始する

4. 国際交流・国際貢献への取り組み

1) WFOT 世界大会実行委員会の設置と国際部の機能強化に向けた再編

2) 近隣諸国との国際交流の推進（韓国協会との交流及び協力）

3) 国際貢献の基盤づくり（研修受け入れ、人材育成、ネットワーク整備など）

5. 協会組織の機能再編

1) 協会体制の効率化と基盤強化

各部・各委員会活動の支援体制を目的とした事務局機能の人員・環境面の体制整備

2) 公益法人制度改革への対応

公益法人制度改革対策委員会を設置し、協会方針を示す

6. 作業療法の普及・啓発

1) 多角的な広報活動の強化

2) 公益事業の拡充